

第1号様式

(高校在学・緊急-1)

平成30年度奨学生願書(高校育英貸与奨学生又は高等学校奨学生)

申込者は「願書の記入例」を参照し、太線内を記入すること。 ※の箇所は該当するものを○で囲むこと。 控除額、学校認定欄は、学校担当者が記入すること。

フリガナ 氏名	氏		名		性別	※ 男・女	写真 4cm×3cm 写真裏にボールペンで学校名と名前を記入して下さい。			
	昭和・平成 年 月 日生 (満 歳)									
生年月日										
学校名	立 科 年 組				(↓○で囲む) ※ 全日制 定時制 通信制					
	入学: 平成 年 月		卒業予定: 平成 年 月							
本人現住所 (実際に居住する住所)	〒(-)				電話番号:() -					
					携帯電話:() -					
	☆電話番号がない場合は、『なし』と記入ください。									
家族の住所	〒(-)				電話番号:() -					
					携帯電話:() -					
	☆電話番号がない場合は、『なし』と記入ください。									
生計を一にする家族の状況	就学者を除く家族	続柄	氏名	年令	所得の種類	※同居・別居 (↓○で囲む)	収入・売上(税込) 金額(万円)		所得金額又は 課税前所得	
		父	(フリガナ)			同居・別居			(1)	
		母	(フリガナ)				同居・別居			(2)
							同居・別居			(3)
							同居・別居			(4)
							同居・別居			(5)
	↑ 同一人で2種類以上の所得がある場合は、二段に分け記入する。						所得金額の計		(6)	
本人を除く就学者	続柄	氏名	年令	学校名	学年	※通学別 (↓○で囲む)	控除額(万円)			
						自宅・自宅外	(7)			
						自宅・自宅外	(8)			
						自宅・自宅外	(9)			
						自宅・自宅外	(10)			
						自宅・自宅外	(11)			
控除額 (7) (20)	※高校育英貸与奨学生	1 本人の就学者控除(国公立:自宅19万円/自宅外41万円、私立:自宅33万円/自宅外54万円)						(12)		
		2 母子・父子世帯(世帯18歳未満の子及び60歳以上で経済力のない祖父母の世帯等)(一律49万円)						(13)		
		3 障がいのある人がいる世帯(身体障害者手帳の写し、医師等の証明書の提示できる者)(一人につき99万円)						(14)		
		4 長期に療養を必要とする人(6か月以上の療養が必要な人)がいる世帯(療養のため定期的に支出をしている年間金額)入院、通院証明書又は診断書(記載内容:療養期間及び通院頻度)と直近6か月分の医療費等の領収書写しの提出						(15)		
		5 主たる家計支持者が別居している世帯(一律71万円)						(16)		
		6 火災・風水害等の被害を受け2年以上にわたり著しく困窮状態におかれる世帯(支出増・収入減額)						(17)		
	※高等学校奨学生	a 母子・父子世帯(世帯18歳未満の子及び60歳以上で経済力のない祖父母の世帯等)						(18)		
b 障がいのある人(身体障害者程度等級表1級、2級及び3級の者)						(19)				
※高校育英貸与奨学生 [(7)~(17)の計] ※高等学校奨学生[(18)、(19)の計]						控除額合計		(20)		
学校認定欄						[(6)-(20)] 認定所得金額		(21)		
						世帯人員(本人含む 人) ※高等学校奨学生(級地-) 収入基準額		(22)		
財団認定欄						認定所得金額		(23)		

《家庭の事情》(奨学金貸与を希望する理由)	《奨学生としての決意と将来の夢》

緊急採用の場合

1. 家計急変の理由 (↓○で囲むこと)
 ※ ア. 家計支持者が会社の倒産等により解雇又は早期退職 イ. 家計支持者が死亡又は別離
 ウ. 家計支持者が破産 エ. 病気、事故、会社倒産、営業不振等により著しく支出が増大又は収入が減少
 オ. 火災、水害、震災等により著しく支出が増大又は収入が減少

2. 理由が生じた年月 平成 年 月

3. 希望する貸与始期 平成 年 月
 (家計急変の理由が生じた月まで遡ることができる。ただし、平成30年4月が限度)

※生活保護を受給していますか？ はい いいえ

以上のとおり記載事項に相違はありません。貴財団の奨学生として採用していただきたくお願
 いします。

平成 年 月 日
 公益財団法人 沖縄県国際交流・人材育成財団理事長 殿

本人 氏名 ①

連帯保証人	フリガナ 氏名					※昭和・平成 (←○で囲む)	続柄
						年 月 日生	
	(本人と別の印を使用してください)						
現住所	〒(-)		電話番号:() -		携帯電話:() -		
☆電話番号がない場合は、『なし』と記入ください。							
勤務先名		部署		職種		電話番号:() -	

注意1 「連帯保証人」は、父又は母。父母がいない場合は、成年者のきょうだい又は未成年後見人等を選ぶこと。
 注意2 奨学生として採用されたら、連帯保証人とは別に「保証人」(奨学生かつ連帯保証人と別生計を立ててい
 る父母以外の者で、55歳以下(平成30年4月1日現在)の有職者)が必要になります。

※奨学生適格認定報告(奨学金貸与継続申請該当者名簿)の記載実績 有り 無し

学習成績(5段階)の 評 定 平 均 値	(↓○で囲むこと) ※中学校() 高 校()	(注)学習成績の評定については文書記 述が可能な場合はそれに従ってよい。	通学区分の学校認定 (↓○で囲むこと) ※ 自宅通学 自宅外通学
人 物 評 定	(↓○で囲むこと) ※中学校() 高 校()	特に優れている……5 適している………3 かなり努力がいる…1	優れている……4 努力がいる……2

所見欄	生徒の人柄、生活環境、学校での活動など	所見記入者氏名

この生徒は、貴財団の奨学生として人物、健康、家計が推薦基準に合致していると認め、推薦します。

平成 年 月 日
 公益財団法人沖縄県国際交流・人材育成財団理事長 殿

学 校 名 職 印
 学校長氏名

学校担当者氏名

記載された個人情報は、当財団の奨学金業務にのみ利用するものです。なお、応募された願書等は返却しませんのでご承知おきください。